



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1882号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 渡辺 雅晃 幹事 黒田 一



広重版画より 三島 朝霧

第1945回例会

2012.8.31晴

ガバナー公式訪問

於：ブケ東海三島

司 会

久保栄子君 (せせらぎ三島RC)

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 石井和郎君
(せせらぎ三島RC)

会長挨拶

せせらぎ三島RC会長 太田政人君

本日は、ガバナーの公式訪問ということで三島西ロータリークラブとせせらぎ三島ロータリークラブの合同例会です。高野ガバナー、連日の猛暑の中遠方よりお越し頂きありがとうございます、ガバナーには後ほどたっぷりとお話を伺いたいと思います。

さて、今月はメダルと共に大きな感動を与えてくれた、平和の象徴であり平和の祭典という名の下に行われたロンドンオリンピック、広島、長崎原爆平和記念式、終戦記念日、シリアの悲惨な内戦等、平和について考えさせられることが多い月でした。

田中作次2012-2013年度国際ロータリー会長はテーマとして『奉仕を通じて平和を』を掲げ次のようにのべています「平和という概念は、人によって、文化によって異なります。心の平安や家族の幸せ、満足感を指す場合もあるでしょうし、人間の基本的ニーズが満たされた安全な状態を指すこともあるでしょう。平和をどのように定義するにせよ、それは奉仕を通じて達成できる目標です。」平和をどのように定義することは困難ですが、平和を考える上でのひとつの目安として、オーストラリアのシドニーに本部があります「経済・平和研究所」という民間の国際研究機関がこの度158の世界各国・地域の平和度ランキングを発表しましたのでそれを引用してみました。1位は2年連続でアイスランドでした、デンマーク、ニュージーランド、カナダと続き日本は5位でした、15位ドイツ27位台湾29位イギリス40位フランス42位韓国88位アメリカ89位中国153位ロシアでした、軍事費が多いとランクが下がるようです。

では平和であれば幸福でしょうか、幸福とは内面的心理的な概念ですが幸福度ランキングというものもあります、これもひとつの目安として、イギリスのレスター大学のホワイト博士のランキングを引用してみます、1位デンマーク2位スイス3位オーストリア4位アイスランド5位バハマ23位アメリカ35位ドイツ41位イギリス62位フランス82位中国90位日本167位ロシアとなっています。押並べて平和度の高いところは幸福度も高いとの結果になりましたが日本だけ平和度5位と幸福度90位と非常に乖離した驚くべき結果になりました。平和なのに幸福を感じないことは単純ではなく色々な要因が絡み合っているのでしょう、深刻な問題です。因みにブータンは平和度19位幸福度8位でした。ランクデーターの羅列でしたが会長挨拶とさせていただきます。

“こんにちは、ようこそ”

高野孫左エ門君
(第2620地区ガバナー・甲府RC)
五味 晃君(地区副幹事・甲府RC)
稲葉良弥君(ガバナー補佐・三島RC)
大庭治美君(ガバナー補佐事務局・三島RC)
高相美穂さん(渡辺(雅)君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	32/49	65.31%	42/49	85.71%
今回	36/46	78.26%	会員総数	54名

欠席者 石井(彰)君、石井(良)君、勝間田君、窪田君、佐野君、諏訪部(照)君、登崎君、長田君、橋本君、渡辺(芳)君

2012~2013年度
国際ロータリー会長
田中 作次

奉仕を通じて平和を

ガバナー挨拶

R I 第2620地区ガバナー
高野孫左エ門君



こんにちは

私は、生まれたときから孫左エ門ではありません。約2年半前に生前襲名ということで、結果として裁判所から判決をいただいて改名しました。生まれてはじめて貰った判決。これからは貰わないように生きていこうと思っています。「敵に塩をおくる」という言い伝えがあります。その言葉が生まれた由来が、我が家業である「吉字屋」の誕生に深く関わっております。

山国の甲斐、武田領下にあった信濃の領民は、生活の必需品である塩の供給を得られず、塩飢饉で困窮した事は言うまでもありませんが、この窮状を見た越後の上杉謙信は、義をもって越後産の塩を送る事にした、と伝えられています。この際、信玄の命を受け越後産塩の取り引きにお使いしたのが塩屋孫左エ門（初代）です。この務めを果たし、国内の塩飢饉を救った活躍に対し、信玄公より当時の甲斐の国の通貨「甲州金」の裏刻印である「吉」の字を屋号として贈られ、「吉字屋」が誕生し、現在まで孫左エ門の名が受け継がれてきております。塩・油・石油と扱ってき、私の代では太陽光発電システムの導入・販売等さまざまな事業に携わってきております。

地域の中で、自分自身が出来る事を見つけ、これから必要とされるもの、今現在必要とされるものをしっかり地域の皆様にお届けするのが「吉字屋」の仕事だと思っています。

ロータリーが何故107年も国の体制も、政治の仕組みも、文化も民族も宗教も違う世界に広がって続いているのでしょうか？国際社会は、日々変化しております。ロータリーはこの変化を認識して、対応し、なおかつ政治や宗教には触れずにしてそれぞれの個を大事にしてきたからだと思います。ポール・ハリスが何故ロータリーを作ったかという、不況の中、ほんとに信頼できる仲間が欲しいと思い、3人の友人（異業種）と最初の会合を開きました。このことから例会がいかに大事かという事が解ると思います。

皆様方は、その地域で業種を代表する一人ひとりが集まっています。自分の考えていること、不安に思っていること、困っていることを安心して語れる仲間がいるならば、同業者がいない中、違うアイディア・新しい考え方を身につける事ができる。これが一業種

一人の原則が生み出す例会の魅力ではないでしょうか。100年経過したロータリーが新しい100年をどのようにその歩みを重ねていくのか。今まさに問われているのではないのでしょうか。

この地域社会の中で、それぞれのクラブの特性を明確にして、周りから期待され、それに答えていくクラブであるためには、どうしたらいいか。会長・幹事を中心にして3カ年くらいのスパンで考え、取り組みを進められるようにお願いし、ご期待申しあげます。

委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 鈴木正二君

平成24年度赤十字献血運動への協力報告☒

○日時：☒平成24年8月25日（土）☒

10時～12時、13時15分～16時☒

○場所：☒日清プラザ（イトーヨーカドー 北口広場）

○参加者：（終日）鈴木正二☒佐野宏三☒昌山豊☒

（午前）遠藤正幸☒真田裕☒澤村康子☒鈴木郁夫

瀬川幸信 土屋時雄☒野田和秀☒古川喜仁☒

森崎祐治☒末岸克行

（午後）伊丹秀之☒黒田一☒藤江康儀☒前田房江☒渡邊雅晃

他に、☒赤十字のボランティアとして日大三島高校山

岳部女生徒5名が終日参加☒

○成果： 献血受付数、75名☒ 献血できた数、55名☒
献血量、20,200 c c ☒

○その他☒

- ・非常な暑さの中で、皆が協力し合って良い成果があがった。☒
- ・赤十字の宮城県長から、「西ロータリーさんはいつも和やかにやっていただいて献血の数字も多くなりがちありがたいです」とのお言葉をいただいた。



（週報担当：佐々木雅浩）